【2-2-9-08】

高野山大学研究倫理委員会規程

令和3年9月1日制定・施行

(目的)

第1条 高野山大学研究倫理規程（以下「研究倫理規程」という。）第18条に基づき、研究倫理に関する事項について審議、調査、検討するため、高野山大学研究倫理委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(審議事項及び任務)

第2条 委員会は、次の事項について審議する。

- (1) 研究倫理規程の運用、解釈に関する事項
- (2) 研究倫理規程第15条に定める事項
- (3) 高野山大学「人を対象とする研究」倫理規程に定める研究の審査事項
- (4) 研究倫理に関する学長の諮問事項
- (5) 研究倫理規程の改廃に関する事項
- (6) その他必要な事項

2 委員会は、必要があると認められるときは、研究者に対して適切な指導及び助言を行うものとする。

3 委員会は、研究者による不正行為を防止するために、次の各号に掲げる事項を行う。

- (1) 研究倫理についての研修及び教育の企画及び実施に関する事項
- (2) 研究倫理についての国内における情報の収集及び周知に関する事項
- (3) 研究者の不正行為に関する予備調査
- (4) その他研究倫理に関する事項

(構成)

第3条 委員会は、研究倫理規程第16条及び第17条に定める次の者をもって構成し、委員は学長が委嘱する。

- (1) 高野山大学副学長
- (2) 各学科主任

- (3) 大学院委員長
- (4) 密教文化研究所所長
- (5) 教授会構成員 2名
- (6) その他学長が必要と判断した者 若干名

(委員長及び副委員長)

第4条 委員会には、委員長及び副委員長を置く。

- (1) 委員長は、副学長とする。副学長が複数の場合は、副学長の互選とする。
- (2) 副委員長は、前条に定める委員の互選とする。

(任期)

第5条 委員の任期は、次の通りとする

- (1) 第3条第1号から第4号に定める委員の任期は、その職の期間とする。
 - (2) 第3条第5号及び第6号に定める委員の任期は、1年とする。ただし、再任は妨げない。
- 2 委員長、副委員長の任期は、その職の期間または1年とする。

(議事)

第6条 委員会は、委員長が招集し、議長となる。

- 2 委員会は、委員の3分の2以上の出席で成立し、議事は出席委員の過半数で決する。

(委員以外の者の出席)

第7条 委員会が必要と認めた場合には、委員以外の者の出席を求め、意見を徴することができる。

(守秘義務)

第8条 委員会委員は、審議事項及び任務の内容について個人のプライバシー保護に留意し、業務上知り得た秘密は、これを他に漏らしてはならない。

(事務)

第9条 この規程の運用及び改廃にかかる事務所管は、総務課とする。

(改廃)

第10条 この規程の改廃は、教授会の議を経て、学長が決定する。

付則

1 この規程は、令和3年9月1日より制定・施行する。